

# 授業実践 (1) 小学校 5 年生「気持ちよくすごすために」

1 主題名 みんな気持ちよく【内容項目 C-(12)規則の尊重】

2 教材名 「気持ちよくすごすために」(自作資料)

3 資料のあらすじ

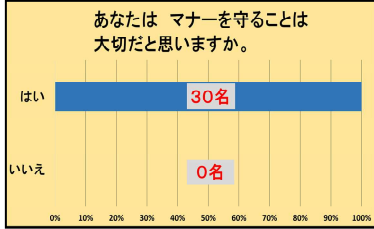
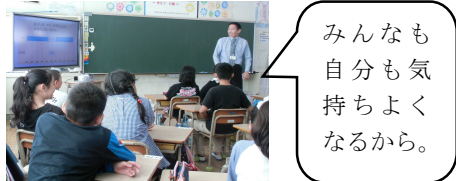

「校内での過ごし方」をテーマとし、話の内容を文章で示すのではなく、どのような状況なのか以下の順番で説明した。





- ① わたしの小学校では、校内で騒ぐ人が多く、静かに過ごしている人にとってはとても迷惑です。
- ② ある日、わたしが廊下の角を曲がろうとしたとき、校内を走り回っていた同じクラスの A さんがぶつかりそうになり、ヒヤリとしました。しかし、A さんは何も言わずに行ってしまいました。
- ③ その日の帰りの会で、B さんが「騒ぐ人には罰をつくれれば静かになるのではないか」と言いました。

4 本時のねらい

マナーを守ることの意義や大切さに気付き、マナーを守って気持ちよく生活していこうとする態度を育てる。

5 授業の実際

	学習活動 ◆主な手立て	主な発問(○) 児童の発言(・)
導 入	<p>1 マナーに対する自分たちの意識を知る。</p> <p>◆事前アンケートの結果を示し、全体的な意識とその理由を確認させた。</p>	<p>○「マナーを守ることは大切だと思いますか」という質問で多かった答えは何だと思いますか。</p> <p>・「はい」という答えが多い。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">   </div>
展 開	<p>2 資料を見て問題を把握し、自分の考えを書く。</p> <p><b>【書く活動①】</b></p> <p>◆ワークシートに記入した後、つくるのがよいと思う児童は青、つくらないのがよいと思う児童は白にしてネームプレートを机の上に置かせた。</p> <p>◆全体的な傾向を見て、お互いの考えに違いがあり、判断理由を聞いてみたいという気持ちをもたせた。</p>	<p>○「校内で騒ぐ人」をなくすために、あなたなら罰をつくりませんか。つくりませんか。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <span style="display: inline-block; width: 20px; height: 15px; background-color: #0070C0; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span> 罰をつくる(25名)             <span style="display: inline-block; width: 20px; height: 15px; background-color: #FFFFFF; border: 1px solid black; margin-left: 20px; margin-right: 5px;"></span> 罰をつくらない(5名)         </div> <p>○自分の気持ちと相手の気持ちという二つの視点を基にして、クロス表の上にネームプレートを貼りましょう。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-left: 20px;">                 罰をつくるという考えが多いな。                  罰をつくらないほうがいいのにな。                  友達の考えの理由を聞きたいな。             </div> </div>

<p>展 開</p>	<p>3 自分と相手の立場で考え、話し合う。 【話し合い】 ペア(相手を見つけて)で</p> <p>◆友達の考えをワークシートにメモさせたり、話し合いで考えが変わった児童はネームプレートを移動させたりした。</p> <p>全体で</p> <p>◆ペアで意見を交流した後、全体で話し合い、再度ネームプレートの色や位置を確認させた。</p> <p>◆マナーを守れなかったときの気持ちと授業で考えたことを比較して考えさせた。</p>	<p>○違う考えの人や同じ考えでも遠い位置にネームプレートを貼っている人を見つけて話し合いをしてみましょう。</p> <div data-bbox="584 255 842 394" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>罰は必要と思ったけど、なくても守れるほうがいいね。</p> </div> <div data-bbox="849 255 1056 412" style="display: inline-block; margin-right: 20px;">  </div> <div data-bbox="1136 255 1334 412" style="display: inline-block;">  </div> <p>○罰をつくる(つくらない)のがよい理由は何ですか。そのことで自分と相手はどんな気持ちになると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・罰があれば二人ともけがをしなくてよい。</li> <li>・罰を作らないと騒ぐ人はいなくならない。</li> <li>・罰を受けたくないと思うだけで本当に騒いだらいけないとは思わない。</li> <li>・罰があるから守れるようになるよりも、罰がなくても守れるようになるのがよい。</li> <li>・自分で意識すれば、罰がなくても守れるようになる。</li> </ul> <div data-bbox="1216 524 1426 680" style="display: inline-block; margin-top: 10px;">  </div> <p>○みんなが気持ちよく過ごすために大切なことはどんなことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことだけでなく相手のことを考えること。</li> <li>・周りの人の気持ちを考えること。</li> </ul>
<p>終 末</p>	<p>4 これからの生活について考える。 【書く活動②】</p> <p>◆書く視点を意識しながらワークシートに記入させた。</p> <p>◆普段の生活の様子を電子黒板のスライドショーで視聴させた。</p>	<p>○今日の授業で学んだことや考えたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーは大切だと分かっていたけれど守れていなかった。</li> <li>・周りの人のため自分のために進んでマナーを守っていきたい。</li> </ul> <div data-bbox="705 1106 932 1272" style="display: inline-block; margin-right: 20px;">  </div> <div data-bbox="976 1106 1251 1272" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>[書く視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだこと</li> <li>・これまでの自分</li> <li>・これからの自分</li> </ul> </div> <p>○みんなの普段の姿を見てみましょう。</p>

6 授業のまとめ

○書く活動について

- ・最初に書く活動①を設定したことで、校内で騒ぐ人をなくすために罰をつくったほうがよいか、つくらないほうがよいかを選択し、その理由をこれまでの経験を踏まえて自分なりに記述させることができました。ただ、資料中の人物と自分を重ねることができず、資料中の人物の立場で考える児童が数名おり、更なる手立ての必要性を感じました。
- ・事前アンケートの結果を示すことで、マナーを守れていないときの気持ちと守ろうとするときの気持ちの違いに気付き、書く活動②において、これからみんなが気持ちよく過ごすために自分にできることを考えさせることができました。

○話し合いについて

- ・ペアや全体での話し合いにおいて、他者の考えに触れ、キーワードをメモすることで自分と異なる考えも受け止めさせることができました。
- ・話し合いの中で、他者の異なる考えに理解を示すことはできていましたが、それを受け入れて自分の考えを更に深めることができた児童は少ないようでした。

## 第 5 学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名 みんな気持ちよく【内容項目 C－(12)規則の尊重】
- 2 資料名 「気持ちよく過ごすために」(自作資料)
- 3 主題設定の理由

## ○ねらいとする価値について

「人間」は文字通り「人の間」で生きており、常に周りの人との調和を図ることが大切である。基本的なマナーは、互いが気持ちよく、明るく生活していくために必要な潤滑油のようなものであるといえる。しかしながら、法律とは異なり罰則はないため、平気で守らない人がおり、至る所で啓発ポスターを見かけることが多い。

「罰則があれば守る」「罰則がなければ守らなくてよい」という考えではなく、そもそもマナーは何のために存在するのか考え、自分にできることを心掛けながら生活していこうとする態度を育てることは大変意義深いと考える。

## ○児童の実態について

高学年の児童は、基本的なマナーは大切であり、学校や学級で決められたことは守ったほうがよいことは分かっている。

本学級の児童も、事前アンケートの「マナーを守ることは大切だと思うか」という問いに全員が「はい」と答えている。その理由として「他の人に迷惑をかけるから」「嫌な気持ちになったりするから」と答えている。しかしながら「マナーを守れなかったことがあるか」という問いには 83%の児童が「はい」と答えている。マナーを守らなければいけないことは分かっているが、自分の都合や周りに合わせて守らないことがあるというのが現状である。

## ○資料について

本資料は、「校内での過ごし方」をテーマとし、校内で騒ぐ人をなくすために罰則は必要かどうかについて考えさせるものである。話の内容を文章で示すのではなく、どのような状況なのか以下の順番で説明し、問題を把握させる。

- ① わたしの小学校では、校内で騒ぐ人が多く、静かに過ごしている人にとってはとても迷惑です。
- ② ある日、わたしがろうかの角を曲がろうとしたとき、校内を走り回っていた同じクラスの A さんがぶつかりそうになり、ヒヤリとしました。しかし、A さんは何も言わずに行ってしまいました。
- ③ その日の帰りの会で、B さんが「騒ぐ人には罰をつくれれば静かになるのではないか」と言いました。

マナーを守るために本当に大切なことは何か、今の自分にできることは何かを考え、実際の場面でマナーを意識して行動することができるようになるという視点で資料を活用していきたい。

## ○指導の重点

導入では、資料の内容をスライドで順番に提示して問題を把握させ、自分の判断とその理由をワークシートに記入させる。その後、ネームプレートを黒板に貼らせ、全体的な傾向を確かめさせる。

展開前段では、「罰をつくる」「罰をつくらない」ことに対する気持ちを、自分の立場と相手の立場の両方から考えさせ、再度ネームプレートを黒板に貼らせる。その後、自分とは異なる考えの友達と話し合わせることで、同じ判断でも理由が違ったり、違う判断でも理由が同じだったりすることに気付かせたい。更に、全体で話し合うことで、マナーを守るための意義や大切さについて理解を深めさせたい。展開後段では、みんなでマナーを守っていくために自分にできることは何かを具体的に考えさせることで、実際の生活場面で実践していきたいという気持ちをもたせたい。

終末では、これまでの学校生活の中で、マナーを守ることでみんなが気持ちよく過ごしている場面をスライドショーで視聴させることで、自分たちの行動に自信をもたせ、更に実践意欲を高めたい。

## 4 ねらい

マナーを守ることの意義や大切さに気づき、マナーを守って気持ちよく生活していこうとする態度を育てる。

## 5 展開

	学習活動	主な発問(○)と予想される反応(・)	指導上の留意点 <small>期待される児童の変化(教師の願い)</small>
導 入	1 マナーに対する自分たちの意識を知る。	○「マナーを守ることは大切だと思いますか」という質問で多かった答えは何だと思えますか。 ・「はい」という答えが多い。	・事前アンケートの結果を示し、マナーは守るべきものという意識をもっていることとその理由を確認させる。 ・資料中で同じ思いをもつ人物を自分に置き換えさせて資料提示につなげる。
展 開	2 資料を見て問題を把握し、自分の考えを書く。 【書く活動①】	○「校内で騒ぐ人」をなくすために罰をつくるのとつくらないのではどちらがよいと思えますか。 ・つくるのがよい。 ・つくらないのがよい。	・電子黒板で資料を提示し、問題場面を把握させる。 ・ワークシートに記入させた後、つくるのがよいと思う児童は青、つくらないのがよいと思う児童は白にしてネームプレートを机上に置かせる。
	3 自分と相手の立場で考え、話し合う。 【話し合い】  ペアでの話し合い  ↓  全体での話し合い	◎罰をつくる(つくらない)ことで自分と相手はどんな気持ちになると思えますか。  【罰をつくる】 ・相手も反省するし、自分もすっきりとした気持ちになる。 ・騒ぐ人が減り、自分も相手も良い気持ちになる。 【罰をつくらない】 ・自分はすっきりしないが、相手が嫌な気持ちにならないで済む。 ・罰がなくても騒ぐ人が減ったほうがみんな気持ちいい。	・自分の気持ちと相手の気持ちという二つの視点を基にクロス表の上にネームプレートを貼らせる。 ・全体的な傾向を見て、お互いの考えに違いがあり、判断理由を聞いてみたいという気持ちをもたせる。  判断は同じでも理由や気持ちに違いがあったり、気持ちは同じでも判断が違ったりすることに気付くことができる。  ・ペアで意見を交流した後、全体で話し合い、再度ネームプレートの色や位置を確認させる。
開		○みんなが気持ちよく過ごすために大切なことはどんなことでしょうか。 ・自分のことだけでなく相手のことを考えること。 ・みんなの気持ちを考えること。	・「罰があるからマナーを守る」という考えでは根本的な解決にはならないことを押さえる。 ・事前アンケートの結果を示し、マナーを守れなかったときの気持ちと授業で考えたことを比較させる。
終 末	4 これからの生活について考える。 【書く活動②】	○これからの自分にできることはどんなことでしょうか。 ・周りのため自分のために進んでマナーを守る。 ・友達にも声を掛ける。  ○みんなの普段の姿を見てみましょう。	みんなと気持ちよく過ごしたいという気持ちが自分にもあることを知り、できることをしていきたいという気持ちをもつことができる。  ・普段の生活の様子を電子黒板のスライドショーで視聴させる。

# 「伝持ちよほいおためため」

5年( )組名(前)

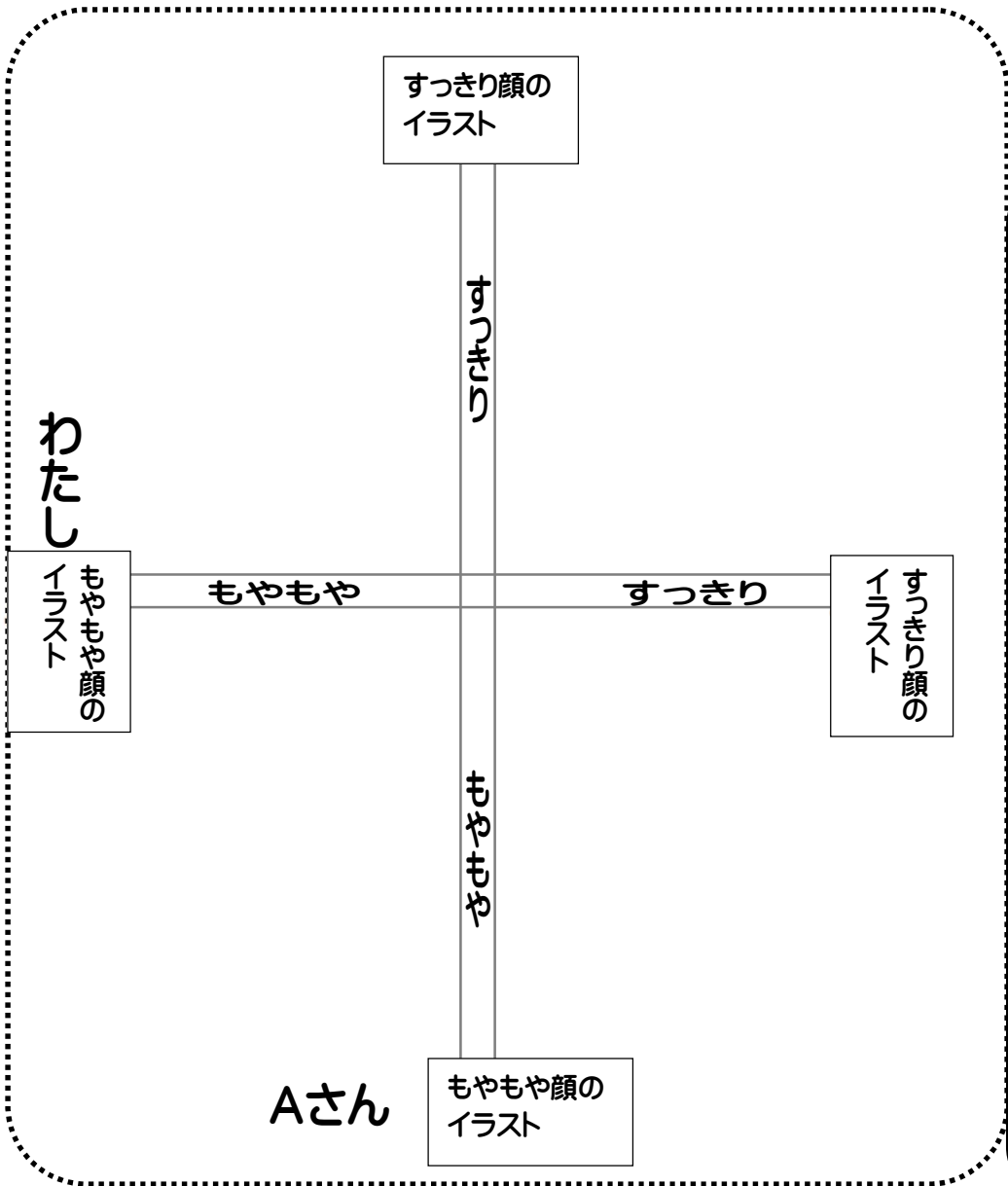
○あなたはおじいちゃんやおばあちゃんに話を聞かされたことがあるか。

■ なる

□ ならない

理由

### クロス表



◎「これまで自分の自分をふりかえり、自分の自分と比べて書きかえよう。